

令和2年度事業報告書

概要

定款に則り事業を行い、令和2年度を終了した。

今期は新型コロナウイルスの影響により、一部事業計画の実行に支障があったが、概ね大過なく運営することが出来た。

期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

1. 会員及び飛行訓練事業

- ①日本飛行クラブ 個人会員 37名 団体会員 1
- ②記念品送付 パイロット手帳
- ③飛行訓練 アイベックスアビエーション（株）に委託

2. 会報発行事業／「エアロンカ」隔月発行 計 6回

航空安全を啓蒙する記事を中心に、航空に関する最新情報や、赤十字飛行隊活動報告、飛行に関する体験記などを掲載し、5月、7月、9月、11月、

1月、3月の年6回発行した。また総務省、経済産業省の経済センサス活動調査のPR記事を掲載し、協力した。

3. 飛行場運営事業

①大利根飛行場

例年のとおり多くの団体及び自家用機等に飛行場を提供して、スポーツ航空の発展に寄与した。更に事故防止のため飛行場整備にも努め、騒音対策飛行ルートにも留意し運営した。また一昨年の台風19号により受けた被害の整備が令和2年6月にようやく終了した。

*常駐機：飛行機9機 滑空機8機（令和3年3月31日現在）

*メールによる飛行場情報配信

*防衛省用パラシュート開発に飛行場提供

*無人飛行機等のテスト飛行

②三保飛行場

今年度は、新型コロナの影響により飛行場に出向けなかったため、ほとんど飛行場の整備を行うことができなかったが、無人機のテスト飛行などには支障が無いため、一年を通じて需要があり、立会のため出張した際、バス周りの補修や整備を行った。尚、昨年購入した軽トラックは、保守整備を兼ねて大利根飛行場に搬送し、利用している。

・飛行場利用状況

* 令和3年3月27日：赤十字飛行隊・大阪支隊の要望により、「大阪支隊と東京都赤十字二輪奉仕団による合同訓練」に会場として飛行場を提供

* 無人飛行機テスト（17回）

* 5月26日：静岡エアコミューター 予防着陸

* 6月08日：静岡エアコミューター：訓練

* 静岡市消防局日本平消防署三保出張所：放水訓練等 延14回

* 公共機関への飛行場提供

緊急時及び救難防災訓練のため、通年の着陸許可書を発行

国土交通省中部地方整備局中央防災会議

静岡県警察航空隊

海上保安庁

静岡県消防防災航空隊

静岡市消防防災航空隊

4. 赤十字飛行隊運営事業

本年は新型コロナウイルスの影響により、各地の総合防災訓練や当社団主催の巡回講習、公共団体主催の講習会、空域連絡会等々が相次いで中止となり、活動機会は大幅に減少した。

隊員 新入会：3名 退会者：11名 合計108名

①全国支隊長研修

日時：令和2年11月14日 13:00~16:30

場所：日本赤十字社 本社会議室

出席者：20名

内容：(1)日本赤十字社による感謝状授与・金色有功章 2名

銀色有功章 3名

(2)安全講習会：「インシデント報告書をふりかえる」

講師：（一財）航空交通管制協会 堀井不二夫

(3)各支隊活動報告及び事務局連絡事項：出席支隊全員

(4)その他懸案事項検討

②ボランティア活動

内 容	機 数	時 間	出動人員
被害状況情報提供 慰霊飛行、防災訓練、 展示飛行、各地域支隊との連携訓練他 災害救助活動に於ける県との協定締結	7	11+40	22
合 計	7	11+40	22

③その他

*令和3年3月29日：航空局主催連絡会出席

内容：運航拠点・対空集約実施計画（案）の説明

*航空局より航空法改正、証明書手続き変更等の周知依頼を、赤十字飛行隊各支隊、及び関係各所にメールにて送信。

*各県、市、空港などの公共機関、及び一般企業等からの無人機、ドローンのフライト情報を、赤十字飛行隊及び関係各所に周知のため送信。

*日本赤十字社へ寄付（新型コロナウイルス対策支援として）
隊員、会員に寄付を募り、当社団の寸志も併せて、新型コロナウイルスの治療に携わる医療関係者に向け、日本赤十字社に寄付を行った。

5. 航空知識向上事業

実施：0回

6. 「調布飛行場友の会」事務局

平成26年に発生した調布飛行場の事故のため、現在休止中

以上